

【次回開催地区主管校挨拶】



## 『第69回全肢研島根大会の開催に向けて』

島根県立松江清心養護学校

校長 藤田 雅司

皆様こんにちは。令和5年度全肢研島根大会に向けて準備を進めている島根県立松江清心養護学校の藤田でございます。

昭和32（1957）年から続いておりますこの大会が、ここ3年間、新型コロナウイルス感染症の影響により全国の皆様が集まって開催することができず、とても残念な思いです。

しかし、令和2年度の埼玉大会、続いて令和3年度の富山大会、そして令和4年度の兵庫大会では、関係者の皆様の大変なご努力と工夫から、歩みを止めることなく開催していただきましたこと心から感謝申し上げます。

今社会では、経済を回すこともあり、いろいろな規制が急速に緩和されています。一方で、特別支援学校においては、まだ心配な状況が続き、皆様もご苦労されていることと思います。季節での流行や新しい型のウイルスにより、繰り返し感染の波が押し寄せ、先生方は長期にわたる感染対策等が続いていることから、ストレスが蓄積しておられることでしょう。日々のご努力に改めて敬意を表します。

これまでのご努力、感染症対策の経験を基に、教育活動でできることを増やし、徐々にアクティブな活動へ移行していけるときの遠くないのではないのでしょうか。学校だけではなく、地域の方々や医療・福祉など関係諸機関の方々に、助言や支援を仰ぎ協働しながら、子どもたちのために少しでも進んでいけたらと良いと思います。

さて、令和5年度の全肢研島根大会は、中国四国地区の肢体不自由特別支援学校の校長先生や理事の先生方をお招きし、11月2日に松江市で開催し、その様子を12月に全国にオンデマンド配信したいと考えています。全国からお越しいただくことも考えましたが、まだ先が見通せないところもあり、今回は断念いたしました。少しづつですが、集合していただく方々を増やしていきながら、今後の全肢研につなげていきたいと考えています。

これまでの各大会の成果を受け継ぎ、本研究協議会がこれまで果たしてきた役割を大切にしながら、さらに有意義な大会になりますことを祈念し、来年度開催の主管校としての挨拶といたします。

全国肢体不自由特別支援学校教職員の皆様、ご理解とご協力をよろしく願いいたします。